

プログラム

第1日目 7月10日(金)

開会の辞 9:00～9:05

会長：千葉 勉(京都大学大学院医学研究科 消化器内科学)

会場：稲盛ホール

シンポジウム1 9:05～11:00

会場：稲盛ホール

オーガナイザー：岡崎 和一(関西医科大学内科学第三講座(消化器肝臓内科))

大平 弘正(福島県立医科大学 消化器・リウマチ・膠原病内科学講座)

[IgG4関連疾患 ― 診断、治療どこまで解明されたのか?]

S1-01 IgG4関連腎臓病の最前線

○川野 充弘(かわの みつひろ)

金沢大学附属病院 リウマチ・膠原病内科

S1-02 1型自己免疫性膵炎における制御性B細胞の役割

○内田 一茂(うちだ かずしげ)、住本 貴美、西尾 彰功、岡崎 和一

関西医科大学 内科学第三講座

S1-03 1型自己免疫性膵炎にみられるマクロファージ・樹状細胞の免疫表現型と分布の検討

○能登原 憲司(のとはら けんじ)

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 病理診断科

S1-04 自己免疫性膵炎患者のIgGの病源性

○塩川 雅広(しおかわ まさひろ)、上田 樹、西川 義浩、山内 雄揮、栗山 勝利、佐久間 洋二郎、

大田 悠司、丸野 貴久、澤井 勇悟、辻 喜久、宇座 徳光、児玉 裕三、千葉 勉

京都大学医学部消化器内科

S1-05 本邦におけるIgG4関連硬化性胆管炎に対する治療の現状

○田中 篤(たなか あつし)¹⁾、田妻 進²⁾、岡崎 和一³⁾、坪内 博仁⁴⁾、乾 和郎⁵⁾、滝川 一¹⁾

1) 帝京大学 医学部 内科、2) 広島大学大学院医歯薬学総合研究科 展開医科学専攻病態薬物治療学講座(総合診療医学)、3) 関西医科大学内科学第三講座(消化器肝臓内科)、4) 鹿児島市立病院、

5) 藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 消化器内科

S1-06 IgG4関連硬化性胆管炎 - 胆道と膵臓の潜在的可塑性からの考察 -

○原田 憲一(はらだ けんいち)¹⁾、中沼 安二²⁾

1) 金沢大学医薬保健研究域医学系 形態機能病理学、2) 静岡県立静岡がんセンター 病理診断科

S1-07 Neutrophil extracellular traps による Plasmacytoid dendritic cell の活性化と IgG4 関連疾患

○新井 康之(あらい やすゆき)¹⁾、渡邊 智裕²⁾、山下 浩平¹⁾、高折 晃史¹⁾、千葉 勉²⁾

1) 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学、2) 京都大学大学院医学研究科 消化器内科学

S1-08 自己免疫性膵炎における再燃因子の検討

○杉本 充(すぎもと みつる)¹⁾²⁾、高木 忠之²⁾、大平 弘正²⁾

1) 大原綜合病院 胃腸科、2) 福島県立医科大学 消化器・リウマチ膠原病内科学講座

司会：仲瀬 裕志（京都大学医学部附属病院 内視鏡部）

〔 IBD 腸管の粘膜免疫 〕

溝口 充志 久留米大学医学部 免疫学講座

共催：エーザイ株式会社・Abbive 合同会社

座長：千葉 勉（京都大学大学院医学研究科 消化器内科学）

〔 制御性T細胞による免疫応答制御 〕

坂口 志文 大阪大学免疫学フロンティア研究センター実験免疫学分野 教授

〔 肝胆膵1 〕

座長：渡部 則彦（国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院 消化器内科）

1-1 アルコール含有飼料摂取モデルマウスにおける感染感受性と単球の subtype の違い

○大濱 日出子（おおはま ひでこ）¹⁾、朝井 章¹⁾²⁾、中村 憲¹⁾、横濱 桂介¹⁾、土本 雄亮¹⁾、
福西 新弥¹⁾、津田 泰宏¹⁾、樋口 和秀¹⁾

1)大阪医科大学 第二内科、2)大阪医科大学 中央検査部

1-2 非アルコール性脂肪性肝疾患における Apoptosis Inhibitor of Macrophage (AIM) の臨床的意義

○小田 耕平（おだ こうへい）¹⁾、宇都 浩文¹⁾、馬渡 誠一¹⁾、大西 容雅¹⁾、坂江 遥¹⁾、楠 恵理子¹⁾、
室町 香織¹⁾、大重 彰彦¹⁾、玉井 努¹⁾、森内 昭博¹⁾²⁾、角田 圭雄³⁾、岡上 武⁴⁾、
坪内 博仁²⁾⁵⁾、井戸 章雄¹⁾²⁾

1)鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学、

2)鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 HGF 組織修復・再生医療学、

3)京都府立医科大学大学院 消化器内科学、4)大阪府済生会吹田医療福祉センター、5)鹿児島市立病院

1-3 C型慢性肝疾患患者における自己免疫現象とインスリン抵抗性との関連について

○樋本 尚志（ひもと たかし）¹⁾、野村 貴子²⁾、谷 丈二²⁾、三好 久昭²⁾、森下 朝洋²⁾、米山 弘人²⁾、
正木 勉²⁾

1)香川県立保健医療大学 保健医療学部 臨床検査学科、2)香川大学医学部 消化器・神経内科

1-4 高脂肪食マウスの Concanavalin A 誘発性肝障害に対するドコサヘキサエン酸の有効性の検討

○戸田 京子（とだ きょうこ）¹⁾、常松 令²⁾、清水 清香²⁾、熊谷 直樹²⁾、森永 正二郎³⁾、
渡辺 憲明²⁾、土本 寛二²⁾

1)北里大学北里研究所病院 BRC バイオメディカル・ラボ、2)北里大学北里研究所病院 内科、

3)北里大学北里研究所病院 病理診断科

〔 肝胆膵 2 〕

座長：日浅 陽一（愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学）

2-1 自己免疫性肝炎における新規自己抗体

○三宅 康広（みやけ やすひろ）、松下 浩志、高木 章乃夫、山本 和秀
岡山大学病院 消化器内科

2-2 自己免疫性肝炎（AIH）マウスモデルにおける 肝炎劇症化誘導サイトカイン・ケモカインの同定

○池田 亜希（いけだ あき）¹⁾、青木 信裕¹⁾²⁾、木戸 政博¹⁾²⁾、渡部 則彦¹⁾²⁾、千葉 勉¹⁾
1) 京都大学医学部消化器内科、2) 枚方公済病院消化器内科

2-3 炎症性腸疾患に自己免疫性膵炎の合併が疑われた2例

○川岸 加奈（かわぎし かな）、横山 薫、長谷川 力也、大岡 正平、佐田 美和、小林 清典、
小泉 和三郎
北里大学東病院 消化器内科

2-4 自己免疫性膵炎と特発性血小板減少性紫斑病の関係

○塩川 雅広（しおかわ まさひろ）、上田 樹、西川 義浩、山内 雄揮、栗山 勝利、佐久間 洋二郎、
大田 悠司、丸野 貴久、澤井 勇悟、辻 喜久、宇座 徳光、児玉 裕三、千葉 勉
京都大学医学部消化器内科

スポンサー教育セミナー 15:10～16:00

会場：稲盛ホール

座長：渡辺 守（東京医科歯科大学 消化器内科）

〔 中枢性免疫寛容を担う胸腺上皮細胞の発生とその維持 〕

濱崎 洋子 京都大学大学院医学研究科 感染免疫学講座 免疫細胞生物学 准教授

共催：杏林製薬株式会社

ワークショップ 16:20～17:50

会場：稲盛ホール

オーガナイザー：金井 隆典（慶應義塾大学医学部 内科学（消化器））
中島 淳（横浜市立大学 肝胆膵消化器病学教室）

〔 Gut microbiology と消化器疾患 — 腸内細菌の是正が消化器疾患のすべてを制御できるのか？ — 〕

W-1 乳酸菌由来長鎖ポリリン酸による抗炎症効果および線維化改善効果のメカニズム解析

○藤谷 幹浩（ふじや みきひろ）、嘉島 伸、高後 裕
旭川医科大学 内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野

W-2 腸内細菌を制御する α ディフェンシンから疾病を眺める

○綾部 時芳（あやべ ときよし）、櫻木 直也、中村 公則
北海道大学 先端生命科学研究院 細胞生物科学分野

W-3 活動期潰瘍性大腸炎に対する Bifidobacterium longum 536 の寛解導入効果 ～多施設共同二重盲検二群間比較試験

○玉置 敬之(たまき ひろゆき)¹⁾、松浦 稔²⁾、柴峠 光成¹⁾
1)高松赤十字病院、2)京都大学大学院医学研究科 消化器内科学

W-4 食餌鉄は腸内細菌叢の変化を介して腸炎の増悪に関与する

○豊永 貴彦(とよなが たかひこ)、岡崎 和一
関西医科大学 消化器肝臓内科

W-5 腸肝相関からみた肝臓免疫寛容誘導機序の解明

○谷木 信仁(たにき のぶひと)¹⁾、中本 伸宏¹⁾、褚 柏松¹⁾、山口 晃弘¹⁾、若山 遊子¹⁾、
網谷 猛¹⁾、林 篤史¹⁾、松岡 克義¹⁾、久松 理一¹⁾、海老沼 浩利¹⁾、齋藤 英胤²⁾、
金井 隆典¹⁾
1)慶應義塾大学医学部 消化器内科、2)慶應義塾大学薬学部 薬物治療学

W-6 パルミチン酸単独投与が引き起こす肝臓における自然免疫応答の検討

○小川 祐二(おがわ ゆうじ)、本多 靖、結束 貴臣、留野 渉、今城 健人、馬渡 弘典、
斉藤 聡、中島 淳
横浜市立大学付属病院 肝胆膵消化器病学

W-7 水溶性食物繊維による腸内環境是正を介した非アルコール性脂肪肝炎の制御機構の解明

○堅田 和弘(かただ かずひろ)¹⁾、内藤 裕二¹⁾、高木 智久¹⁾、水島 かつら¹⁾、東村 泰希¹⁾、
鎌田 和浩¹⁾、内山 和彦¹⁾、半田 修¹⁾、市川 寛²⁾、吉川 敏一³⁾、伊藤 義人¹⁾
1)京都府立医科大学 消化器内科学、2)同志社大学 生命医科学部 医生命システム学科、
3)京都府立医科大学

イブニングセミナー 18:00～19:00

会場：山内ホール

座長：光山 慶一(久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門 炎症性腸疾患センター)

〔潰瘍性大腸炎：基礎と臨床からのアプローチ〕

潰瘍性大腸炎における多彩な T 細胞異常とその制御の意義について

金井 隆典 慶應義塾大学医学部 消化器内科

潰瘍性大腸炎の新しい治療戦略 ―粘膜治癒をめざして―

花井 洋行 浜松南病院 消化器病・IBD センター

共催：アステラス製薬株式会社

第2日目 7月11日(金)

モーニングセミナー 9:00～9:45

会場：山内ホール

司会：中村 志郎(兵庫医科大学炎症性腸疾患学 内科学部門)

〔 バイオ時代の潰瘍性大腸炎における GMA の意義に関する諸検討 〕

渡辺 憲治 大阪市立総合医療センター 消化器内科

共催：株式会社 JIMRO

シンポジウム2 10:00～12:00

会場：稲盛ホール

オーガナイザー：松本 主之(岩手医科大学 消化器内科消化管分野)

飯島 英樹(大阪大学大学院医学系研究科 内科系臨床医学専攻 消化器内科学)

〔 IBD の根治的治療を目指して ―基礎から臨床へ、臨床から基礎へ― 〕

S2-01 炎症性腸疾患感受性遺伝子 NFIL3 欠損マウスは自然免疫異常を介し腸炎を自然発症する

○小林 拓(こばやし たく)¹⁾、松岡 克善²⁾³⁾、竹内 修¹⁾、日比 紀文¹⁾、Scott Plevy²⁾

1) 北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター、

2) Center for Gastrointestinal Biology and Disease, University of North Carolina、

3) 慶應義塾大学 消化器内科

S2-02 炎症性腸疾患の感受性遺伝子 LRRK2 の自然免疫系における役割

○高川 哲也(たかがわ てつや)¹⁾、堀 和敏¹⁾²⁾、佐藤 寿行²⁾、奥 順介²⁾、河合 幹夫²⁾、
中村 美咲²⁾、上小鶴 孝二²⁾、横山 陽子²⁾、宮崎 孝子²⁾、飯室 正樹²⁾、樋田 信幸²⁾、
三輪 洋人³⁾、Fuss Ivan⁴⁾、Strober Warren⁴⁾、中村 志郎²⁾

1) 兵庫医科大学 腸管病態解析学、2) 兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座内科部門、

3) 兵庫医科大学 内科学講座消化管科、

4) National Institutes of Allergy and Infectious Diseases / National Institutes of Health

S2-03 Xbp1 遺伝子欠損マウスにおける NKG2D-NKG2D リガンドを介した自然免疫応答の解明

○細見 周平(ほそみ しゅうへい)¹⁾²⁾、Flak Magdalena²⁾、山上 博一¹⁾、渡辺 憲治¹⁾、
荒川 哲男¹⁾、Blumberg Richard²⁾

1) 大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学、

2) Brigham and Women's Hospital, Division of Gastroenterology, Hepatology and Endoscopy

S2-04 腸管上皮細胞における小胞体ストレス ―オートファジー経路の検討

○下平 陽介(しもだいら ようすけ)¹⁾、高橋 成一³⁾、遠藤 克哉²⁾、木内 喜孝²⁾、下瀬川 徹²⁾

1) 白河厚生総合病院 第一内科、2) 東北大学 消化器病態学分野、3) 東北大学 消化器地域医療医学講座

S2-05 Vitamin A による腸粘膜バリアー調節機構と炎症性腸疾患治療としての可能性

○平賀 寛人(ひらが ひろと)¹⁾²⁾、櫻庭 裕丈¹⁾、蓮井 桂介¹⁾、佐竹 美和¹⁾、石黒 陽³⁾、
福田 眞作¹⁾

1) 弘前大学大学院医学研究科 消化器血液内科学講座、

2) 弘前大学大学院医学研究科 大館・北秋田地域医療推進学講座、3) 国立病院機構弘前病院 臨床研究部

S2-06 腸管上皮細胞における特異的 TNF シグナルは IBD 合併大腸癌の発生を促進させる

○渡部 太郎(わたべ たろう)¹⁾、永石 宇司¹⁾、鈴木 雅博¹⁾、山崎 元美²⁾、鬼沢 道夫¹⁾、Jose Nisha¹⁾、東海 有沙¹⁾、渡辺 守¹⁾

1) 東京医科歯科大学 消化器病態学分野、2) 日本大学医学部 産婦人科学分野

S2-07 日本人の原発性胆汁性肝硬変とクローン病に共通する疾患感受性遺伝子の検討

○相葉 佳洋(あいば よしひろ)¹⁾、山崎 慶子²⁾、川嶋 実苗³⁾、西田 奈央³⁾、小森 敦正¹⁾⁴⁾、久保 充明²⁾、徳永 勝士³⁾、中村 稔¹⁾⁴⁾

1) 長崎医療センター 臨床研究センター、2) 理化学研究所 統合生命医科学センター、3) 東京大学大学院医学系研究科 人類遺伝学教室、4) 長崎大学医歯薬学総合研究科 肝臓病学講座

S2-08 IBD 患者では有意な Mucosal associated invariant T 細胞の減少、アポトーシスの亢進が認められる

○日衛嶋 栄太郎(ひえじま えいたろう)¹⁾、河合 朋樹¹⁾、仲瀬 裕志²⁾、鶴山 竜昭³⁾、森本 剛⁶⁾、八角 高裕¹⁾、松浦 稔²⁾、吉野 琢哉²⁾、池内 浩基⁵⁾、久松 理一⁷⁾、河田 健二⁴⁾、酒井 義治⁴⁾、千葉 勉²⁾、西小森 隆太¹⁾、平家 俊男¹⁾

1) 京都大学大学院医学研究科 発達小児科学、2) 京都大学医学部附属病院 消化器内科、3) 京都大学解剖センター、4) 京都大学医学部附属病院 消化器外科、5) 兵庫医科大学下部消化管外科、6) 兵庫医科大学総合内科、7) 慶応義塾大学病院 消化器内科

S2-09 炎症性マクロファージの真菌に対する反応性と Crohn 病病態への関与

○森 清人(もり きよと)¹⁾、久松 理一¹⁾、鈴木 宏明¹⁾、徳武 美奈¹⁾、島村 克好¹⁾、水野 慎大²⁾、中本 伸宏¹⁾、海老沼 浩利¹⁾、松岡 克善¹⁾、金井 隆典¹⁾

1) 慶應義塾大学病院 医学部 消化器内科、2) 東京都済生会中央病院 消化器内科

S2-10 炎症性腸疾患バイオマーカーとしての Leucine-rich alpha-2 glycoprotein (LRG) の可能性

○新崎 信一郎(しんざき しんいちろう)¹⁾、飯島 英樹¹⁾、松岡 克善²⁾、武下 達矢²⁾、世良田 聡³⁾、辻井 正彦¹⁾、金井 隆典²⁾、竹原 徹郎¹⁾、仲 哲治³⁾

1) 大阪大学大学院 消化器内科学、2) 慶應義塾大学医学部消化器内科、3) 医薬基盤研究所 免疫シグナルプロジェクト

S2-11 潰瘍性大腸炎の内視鏡的重症度と相関するヘルパー T 細胞関連遺伝子の粘膜発現プロファイル

○井星 陽一郎(いぼし よういちろう)¹⁾²⁾³⁾、中村 和彦¹⁾、深浦 啓太¹⁾、岩佐 勉¹⁾、伊原 栄吉¹⁾、原田 直彦²⁾³⁾、高柳 涼一¹⁾

1) 九州大学大学院 病態制御内科学、2) 九州医療センター 消化器科、3) 九州医療センター 臨床研究センター

S2-12 難治性潰瘍性大腸炎に対する、タクロリムスおよびインフリキシマブの短期・長期治療成績

○高津 典孝(たかつ のりたか)、八坂 太親、矢野 豊、平井 郁仁、松井 敏幸
福岡大学筑紫病院 消化器内科

〔炎症性腸疾患における治療ターゲットとその変遷〕

猿田 雅之 東京慈恵会医科大学 消化器・肝臓内科

共催：田辺三菱製薬株式会社

〔消化管1〕

座長：久松 理一（慶應義塾大学医学部 内科学（消化器））

3-1 IL-36のヒト大腸筋線維芽細胞における作用機序の検討

○神田 暁博（かんだ としひろ）¹⁾、西田 淳史²⁾、高橋 憲一郎¹⁾、藤本 剛英¹⁾、浅田 歩美¹⁾、
日高 健太郎¹⁾、藤井 誠¹⁾、森田 幸弘¹⁾、今枝 広丞²⁾、馬場 重樹²⁾、辻川 知之³⁾、
藤山 佳秀²⁾、安藤 朗²⁾

1) 滋賀医科大学 大学院 感染応答・免疫調節部門（消化器免疫）、2) 滋賀医科大学 消化器内科、
3) 滋賀医科大学 総合内科学講座

3-2 好酸球性食道炎の病態形成に IL-33は関与するのか？

○大嶋 直樹（おおしま なおき）、石原 俊治、木下 芳一
島根大学 医学部 第二内科

3-3 ヒト大腸筋線維芽細胞における Interleukin 36 γ の発現

○高橋 憲一郎（たかはし けんいちろう）¹⁾、西田 淳史²⁾、神田 暁博¹⁾、藤本 剛英¹⁾、浅田 歩美¹⁾、
日高 健太郎¹⁾、藤井 誠¹⁾、森田 幸弘¹⁾、今枝 広丞²⁾、馬場 重樹²⁾、辻川 知之³⁾、
佐々木 雅也²⁾、安藤 朗²⁾

1) 滋賀医科大学大学院 感染応答・免疫調節部門（消化器免疫分野）、2) 滋賀医科大学 消化器内科、
3) 滋賀医科大学 総合内科学講座

3-4 潰瘍性大腸炎治療における可溶性 IL2 レセプターについての検討

○加藤 真吾（かとう しんご）、小林 泰輔、可見 和仁、名越 澄子、屋嘉比 康治
埼玉医科大学総合医療センター 消化器肝臓内科

〔消化管2〕

座長：沼田 政嗣（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学）

4-1 プロテオーム解析によって明らかになったインドメタシン投与による 小腸上皮細胞内コラーゲン1の減少

○江戸川 祥子（えどがわ しょうこ）、竹内 利寿、原田 智、太田 和寛、井上 拓也、樋口 和秀
大阪医科大学附属病院 第2内科

4-2 インドメタシン腸炎に対する尿酸の抗炎症効果の検討

○安武 優一（やすたけ ゆういち）¹⁾、穂刈 量太¹⁾、丸田 紘史¹⁾、栗原 千絵¹⁾、岡田 義清¹⁾、
好川 謙一¹⁾、碓井 真吾¹⁾、渡辺 知佳子¹⁾、高本 俊介²⁾、冨田 謙吾¹⁾、三浦 総一郎¹⁾

1) 防衛医科大学校 内科2 消化器内科、2) 防衛医科大学校病院 光学診療部

4-3 亜鉛の腸管炎症制御機構におけるマクロファージの関与

○東村 泰希(ひがしむら やすき)¹⁾²⁾、内藤 裕二¹⁾、高木 智久¹⁾、水島 かつら¹⁾、吉川 敏一²⁾

1) 京都府立医科大学大学院 医学研究科 消化器内科学、

2) 京都府立医科大学大学院 医学研究科 生体食品機能学講座

[消化管 3]

座長：松浦 稔(京都大学大学院医学研究科 消化器内科学)

5-1 炎症性腸疾患に対する炭酸脱水酵素 I を経口投与による腸炎抑制機序の解析

○森 健一郎(もり けんいちろう)¹⁾、八木 専¹⁾、山西 浩文¹⁾、池田 宜央²⁾、阿部 雅則¹⁾、
日浅 陽一¹⁾

1) 愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学、2) 愛媛大学医学部附属病院 光学医療診療部

5-2 ROR γ t 陽性細胞存在下では ROR γ t 非依存的 cTh1 細胞も腸炎惹起性を獲得する

○三枝 慶一郎(さいぐさ けいいちろう)¹⁾、久松 理一¹⁾、半田 一己²⁾、筋野 智久³⁾、林 篤史¹⁾、
三上 洋平¹⁾、水野 慎大¹⁾⁴⁾、中本 伸宏¹⁾、佐藤 俊朗¹⁾、松岡 克義¹⁾、海老沼 浩利¹⁾、
金井 隆典¹⁾

1) 慶應義塾大学医学部消化器内科、2) 科研製薬株式会社 薬理研究部、

3) The Rockefeller University Laboratory of Mucosal Immunology、

4) 東京都済生会中央病院 消化器内科

5-3 免疫修飾的治療中の炎症性腸疾患患者に対するインフルエンザ3価ワクチン2回接種の 免疫応答に関する検討

○松本 紘子(まつもと ひろこ)¹⁾、渡辺 憲治²⁾、渡部 公彦¹⁾、細見 周平¹⁾、湯川 智洋¹⁾、
野口 篤志¹⁾、山上 博一¹⁾、谷川 徹也¹⁾、富永 和作¹⁾、藤原 靖弘¹⁾、荒川 哲男¹⁾

1) 大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学、2) 大阪市立総合医療センター 消化器内科

5-4 Crohn 病の Adalimumab 療法における生物学的製剤投与歴別の治療成績

○長谷川 力也(はせがわ りきや)、横山 薫、川岸 加奈

北里大学東病院 消化器内科